

# 平成23年台風12号被害に関する九州地方整備局の取り組み (第10報)

～緊急災害対策派遣隊(TEC-<sup>テック</sup>FORCE<sup>フォース</sup>)の派遣・活動状況等について～

平成23年9月20日 18:00現在

平成23年台風第12号に伴う大雨(8月30日～9月5日)により、紀伊半島を中心に洪水氾濫、土砂崩れなどが発生し、大きな被害が発生していることから、九州地方整備局では、本日までにTEC-FORCE隊員のべ474名、災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)、衛星通信車、排水ポンプ車等の機材7台を派遣し現地支援を行っています。

現地では、降雨による災害発生の危険性が高まっており、奈良県吉野郡野迫川村では、九州地方整備局から派遣している、衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)により、土砂崩れによる河道閉塞状況の監視を24時間体制で行っています。

また、自治体からの要請を受け、和歌山県那智勝浦町での河川調査等を、同県田辺市での道路調査等を実施中です。和歌山県管轄の河川の被災状況調査結果については、本日18時から和歌山県に報告することになっています。

さらに明日21日に9名のTEC-FORCEを新たに派遣する予定です。(※TEC-FORCEの派遣については台風等の天候状況により変更になる可能性があります。)

## 1. 派遣状況

～派遣実績～

【人的派遣】 474人・日【のべ人数(9月20日現在)】

- 9月 8日 15名(河川の被災状況調査等)
- 9月 9日 12名(道路の被災状況調査等)  
2名(現地被災状況調査班への調整・指示等)
- 9月11日 3名(道路の被災状況調査等)
- 9月13日 9名(河川の被災状況調査等)
- 9月14日 7名(被災状況調査等)
- 9月15日 11名(道路の被災状況調査等)
- 9月16日 6名(被災状況調査等)
- 9月20日 8名(河川の被災状況調査)
- 9月21日 9名(被害状況調査等)

凡例	
●	派遣済
□	今回派遣予定

【機材等の派遣】※現在、ヘリコプター以外は、近畿地方に派遣中

- 9月5日 災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)(9月13日帰還)
- 9月9日 排水ポンプ車 1台(150m<sup>3</sup>/分)、衛星通信車 1台  
Ku-SAT 2台、排水ポンプ車 2台(高揚程型30m<sup>3</sup>/分)

### 【全国の派遣状況(参考)】

- TEC-FORCE 9月4日～ のべ2,866名(9月19日14時現在)
- リエゾン 9月4日～ のべ364名(9月19日14時現在)
- 災害対策用ヘリコプター 9月4日～ 計7機(9月19日14時現在)

## 2. 活動状況

### ■TEC-FORCE

#### 【現地支援班】

近畿地方整備局及び和歌山県庁・奈良県庁において災害現場に派遣されている被災状況調査班に対する調整・指示及び調査進捗状況の把握等を行っています。

#### 【被災状況調査班(道路)】

和歌山県田辺(たなべ)市(県道735号 龍神十津川(りゅうじんとかわ)線)において被災状況の現地調査等を行っています。

#### 【被災状況調査班(河川)】

和歌山県東牟婁(ひがしむろ)郡那智勝浦(なちかつうら)町において、那智川(なちがわ)水系の被災状況調査等を行っています。和歌山県管轄の河川の被災状況調査結果については、本日18時から和歌山県に報告することとしています。

#### 【情報通信班】

奈良県吉野郡野迫川(のせがわ)村において衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)を設置し、土砂崩れによる河道閉塞状況の監視を行っています。

### ■災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)

九州地方整備局の災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)は9月4日～13日にかけて、和歌山県等の上空からの被災状況調査を行いました。

### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 応援対策本部

企画部 企画課長補佐 おおはた 大波多 昌志  
電話:092-414-7301(本部直通)  
FAX:092-481-9210(本部直通)

《九州地方整備局の支援活動内容》(9月20日現在)

■ TEC-FORCE

【現地支援班】

近畿地方整備局及び和歌山県庁・奈良県庁において災害現場に派遣されている被災状況調査班に対する調整・指示及び調査進捗状況の把握を行っています。

【被災状況調査班（道路）】

和歌山県田辺市（県道735号 りゅうじんとつかわ 龍神十津川線）において被災状況の現地調査等を行っています。

【被災状況調査班（河川）】

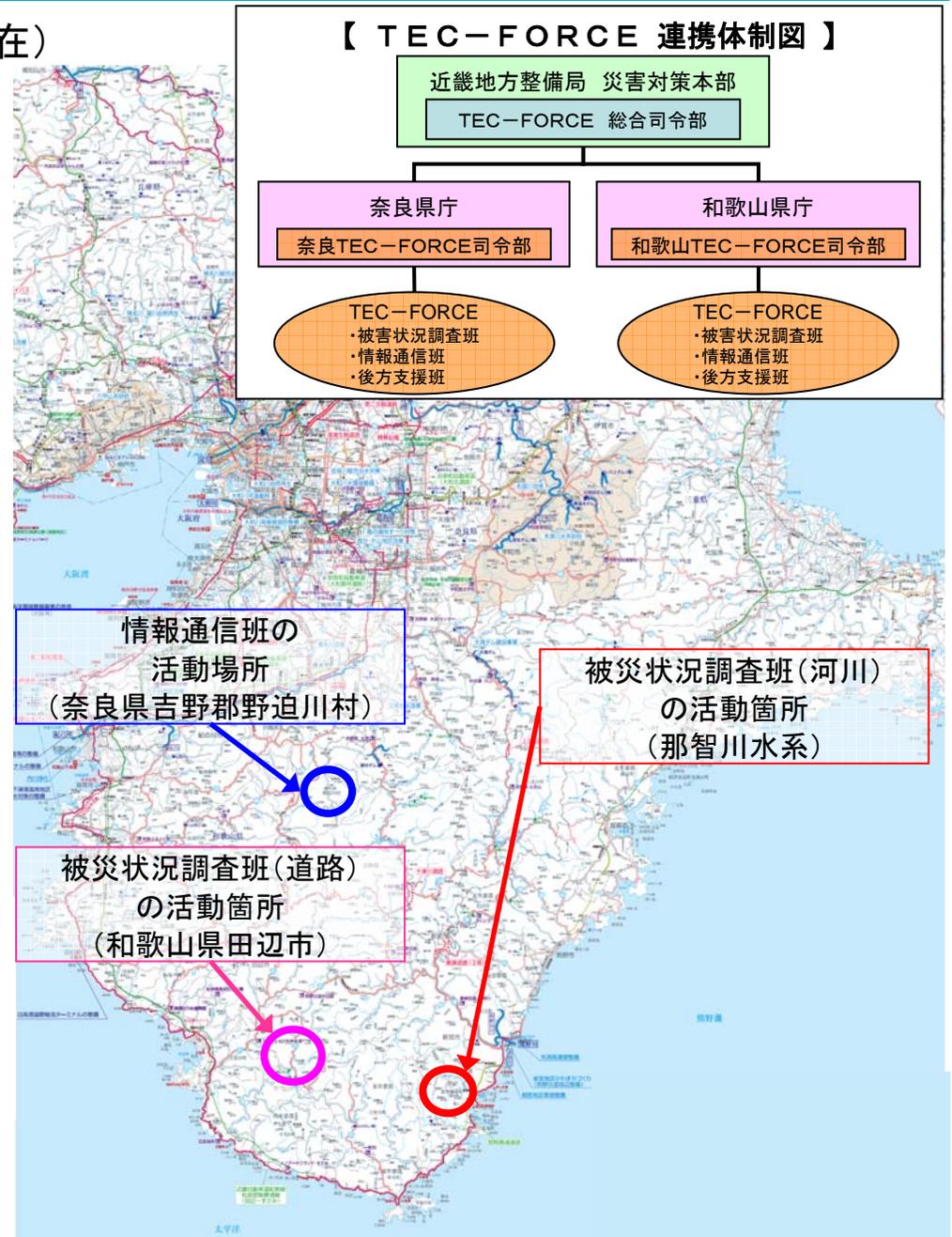
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町において、那智川水系の被災状況調査等を行っています。和歌山県管轄の河川の被災状況調査結果については、本日18時から和歌山県に報告することとしています。

【情報通信班】

奈良県吉野郡野迫川村 よしのぐんのせがわむらにおいて衛星通信車、Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）を設置し、土砂崩れによる河道閉塞状況の監視を行っています。

■ 災害対策用ヘリコプター（はるかぜ）

九州地方整備局の災害対策用ヘリコプター（はるかぜ）は9月4～13日にかけて、和歌山県等の上空からの被災状況調査を行いました。



## 【参 考】

### 緊急災害対策派遣隊（<sup>テック</sup>TEC-<sup>フォース</sup>FORCE）とは

#### ■目 的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

#### ■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧

### 災害対策現地情報連絡員（リエゾン）とは

リエゾン派遣は、自治体が災害対応に追われ、整備局との間で十分な連絡・連携が出来ない場合、連絡窓口として整備局職員を直接自治体へ派遣し、整備局・自治体相互の情報共有や、TEC-FORCEやヘリコプター・照明車等の災害対策用機械等の自治体への応援派遣に係る調整、災害復旧等の支援に関する自治体からの相談受付・整備局への伝達等を行い、迅速かつ的確な災害対策及び災害支援に資することを目的としています。

※リエゾンとはフランス語で連絡・連携や橋渡し、繋ぐといった意味。